

氏名	はたけやま ひろのり 畠山 博式(鍼灸科・鍼灸マッサージ科科長補佐、はりきゅう施術所所長)
担当科目	鍼灸実習Ⅰ・Ⅱ、鍼灸臨床実習、治効理論Ⅰ・Ⅱ、保健と医療Ⅰ・Ⅱ、リハビリテーション医学Ⅰ・Ⅱ
趣味	海外ドラマ鑑賞、映画鑑賞、格闘技観戦など
所属学会・研究発表・著書・その他	[所属学会等]全日本鍼灸学会、国民のための鍼灸医療推進機構・研修作業部会委員、埼玉県鍼灸師会 [研究発表]「より安全な鍼灸臨床のためのアイデア(2)」(2007年岡山大会)、「呉竹医療専門学校附属はりきゅう施術所の患者動態統計・活動報告」(2013年福岡大会) [執筆]ポケット鍼灸臨床ハンドブック(アルテミシア)、鍼灸安全の知識(医道の日本社)
略歴	北海道函館市で2世代続く鍼灸院の長男として生まれ、物心つく前から鍼灸治療を受けて育ちました。鍼灸の良さをまさ肌で感じていたので高校生の時に鍼灸師になることを考えましたが、いろいろあって大学進学を決め、平成5年3月弘前大学農学部卒業。数年会社員をしていましたが、鍼灸師になる夢を思い出し、東京医療専門学校Ⅰ部鍼灸科に入学し、平成13年3月に卒業。卒業後同校の附属施術所研修生となり、整形外科などで働きながら臨床研修を積んでいたところ当時の施術所所長からお声を掛けて頂き、東京医療専門学校の職員となり同校の教員養成科に通うことになりました。2年後卒業し東京校の附属施術所所属の教員となりました。大宮校の開設準備から携わり、現在に至ります。東京校在職中に、東洋療法学校協会 CPR&AED インストラクター、介護予防運動指導員の資格を取得しました。 元々は臨床家を目指しゆくゆくは実家の鍼灸院を継ぐことを考えていましたが、今は小さい頃から受けてきた鍼灸の良さを学生に伝え、鍼灸を広く国民に伝えられる鍼灸師の育成に力を注いで行きたいと思っております。
メッセージ	

